

平成29年度進捗評価シート
宇治市歴史的風致維持向上計画（平成24年3月5日認定）
（最終変更平成29年3月30日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観形成助成制度の啓発	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 史跡整備事業	3
2 情報発信・観光交流施設整備事業	4
3 重要文化的景観保存事業	5
4 歩道整備事業	6
5 歩行空間整備事業	7
6 観光施設周辺浸水対策事業	8
7 観光サイン等整備事業	9
8 建物修景助成事業	10
9 屋外広告物助成事業	11
10 宇治茶園支援事業	12
11 宇治茶品質向上事業	13
12 宇治茶普及啓発事業	14
13 市営茶室対鳳庵活用事業	15
14 宇治川鵜飼助成事業	16
15 宇治十帖スタンプラリー開催	17
16 京都・宇治灯り絵巻の開催	18
17 文化財見学会	19
18 歴史・文化啓発事業	20
19 文化的景観整備計画策定調査	21
20 観光交通対策検討調査	22
21 空き町家の活用検討調査	23
22 観光周遊道路の整備検討調査	24
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の修理(整備を含む)	25
2 文化財の防災	26
3 文化財の保全及び活用の普及・啓発	27
4 埋蔵文化財の取扱い	28
5 文化財の保存・活用に関わる 住民・NPO等の各種団体の状況及び今後の体制整備	29
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 災厄封じ宇治川へ 初夏の宇治に勇壮な馳せ馬 いにしえの神事 無病息災祈る	30
2 源氏ろまん 歩いて満喫 秋の源氏ロードを満喫	31

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 32

進捗評価シート		(様式1-1)
評価軸①-1 組織体制		
項目		評価対象年度 平成29年度 現在の状況
宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	計画の進捗管理や計画の変更・追加について、関係課から庁内意見を調整し、「宇治市歴史的風致維持向上協議会」に意見を伺うこととする。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
学識経験者、文化財所有者、各種関係団体及び行政関係者により構成される宇治市歴史的風致維持向上協議会を開催し、計画の進行管理・評価などについて、意見を聞くことができた。 【定量的評価】 宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催回数 : 1回		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催状況		
実施期間	種別	検討事項等
平成29年4月28日	第1回 歴史的風致維持向上協議会	【内容】 1. 平成28年度の主な事業内容の報告について ① 史跡整備事業 ② 歩道整備事業(市道宇治五ヶ庄線) 歩行空間整備事業(市道宇治233号線) ③ 建物修景助成事業・屋外広告物助成事業 ④ 空き町家の活用検討調査 2. 歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について 3. 歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について 4. その他
		
宇治市歴史的風致維持向上協議会開催の様子		

進捗評価シート		(様式1-2)	
評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策			
		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
景観形成助成制度の啓発		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	「宇治市景観計画」においては、「悠久の歴史と自然を今に活かしふるさと宇治を誇り伝えん」とした基本理念のもと、市内全域を景観計画区域とし、8つに区分されたそれぞれの区域ごとに景観形成誘導指針及び屋外広告物に関する行為の制限を示している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本市は、宇治市景観計画重点区域内において、良好な景観の形成に著しく寄与する建築物や屋外広告物の整備に対して助成を行うこととしている。景観重要公共施設の沿道の助成対象区域において景観形成助成制度の啓発チラシにより、制度の周知をすすめた。また、屋外広告物助成事業については、市の広報紙「市政だより」による周知も行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
屋外広告物の改善費を助成 屋外広告物の設置、除却等に係る工事費で、著しく景観に寄与するもの(ただし、年度内に完了し、年度内に検査を受けられるもの)に助成します。 ◆対象区域…景観計画重点区域 ◆交付額…工事費の2分の1以下(限度額50万円) ◆補助件数…予算額の上限に達するまで(先着) ◆申し込み…5月16日(火)～12月15日(金)、歴史まちづくり推進課へ。 歴史まちづくり推進課 市政だよりによる記事 景観形成助成対象区域図 景観のお知らせ 当該地区は、宇治市景観計画重点区域内にあり、特に景観に寄与する地域です。つきましては、良好な景観形成を目指して下記のような取組をしておりますので、ご協力をお願いします。 ①景観形成助成制度が利用できます。 建築物、工作物(門・塀など)、屋外広告物の新設・改修工事や設備機器の設置など、良好な景観の形成に著しく寄与すると認められる場合、芝居の敷地内において経費の一部を助成します。詳細については、歴史まちづくり推進課窓口又はホームページにてご確認ください。 ○助成対象区域(景観、景観形成助成対象区域図参照) ・建築物、工作物(門・塀など)…宇治市景観計画重点区域内の市街地・市街地沿道 ○屋外広告物…宇治市景観計画重点区域内 ○交付場所 ・宇治市役所歴史まちづくり推進課(6階) ○受付期間 ・平成29年5月16日から平成29年12月15日まで(土・日・祝日を除く)。ただし、平成30年3月上旬までに工事が完了することが確実なものについては、受付期間を過ぎても受付を行う場合があります。 ○受付時間 ・午前8時30分から午後5時15分まで(正午から午後1時まではを除く)。 ○その他 ・申請時には、景観形成助成金交付申請書とともに関係書類を添えて提出してください。(関係書類については、裏面をご覧ください。) ・次年度以降に改修工事を計画されている場合も、できるだけ早く当課までご相談いただきますようお願いいたします。 ※宇治市ホームページ・宇治市トップページ・暮らしの情報・まちづくり・宇治市の景観・景観形成助成制度 ②建物の色の塗り替えでも届出が必要です。 建築物の新築・増築や工作物の新設・増設はもちろん、たとえ同じ色への外壁の塗り替えであっても、軽微なもの以外は、事前に届出・届出が必要となります。また、外壁や屋根などに使用できる色には基準があり、マンセル値という数値で色の基準を定めています。 ※行為に係る部分の大きさが5㎡以下かつ床面積・外壁面積が1㎡以下 ③屋外広告物(看板等)にもルールがあります。 屋外広告物(看板等)を設置するには事前に許可が必要です。また、市内全域で屋外広告物の大きさ・色については基準があります。色については、マンセル値による基準を定めています。 上記以外にも、建築物等の外観を改善する行為を計画される場合には、事前に歴史まちづくり推進課までご相談ください。基準から外れたものが出来あがった場合、基準に合ったものに交換していただくことがあります。 ※宇治市ホームページ・宇治市トップページ・暮らしの情報・まちづくり・宇治市の景観 または 屋外広告物課 連絡先 宇治市役所 歴史まちづくり推進課 景観課(不特定多数) ☎0774-20-8918(直通、22-3141代)			

助成対象区域で配布した啓発チラシ

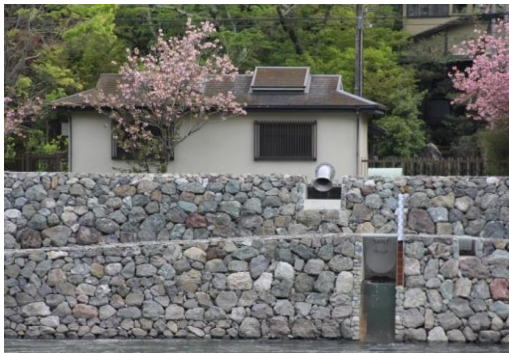
進捗評価シート		(様式1-3)
評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
		評価対象年度
		平成29年度
項目		現在の状況
史跡整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～平成31年度	
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業	
計画に記載している内容	壮大な築堤状況が体感できる空間整備と茶園景観の修景とを一体的に行い、多くの市民や来訪者に本市の歴史・文化の総合的理解を促す。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
史跡整備事業は、機能時と埋没時の宇治川太閤堤を再現し、太閤堤の果たした役割と歴史の重層性を表現することとしている。 Aゾーンは機能時の太閤堤の護岸施設と宇治川を再現する。遺構再現では、太閤堤の石張り部をGRCパネル、石積み部を遺構と同種の石と杭で再現する。平成29年度は復元した遺構を展望するデッキの設置及び排水設備を一部設置した。 Bゾーンは砂に埋もれた太閤堤の護岸施設と、砂州で営まれた茶園景観を復元整備する。平成29年度は、遺構の復元整備の資料を得るため、まだ全体の発掘調査行っていなかった石出し4の発掘調査を行った。またパンフレットの配布やフォーラムの開催によって、市民や来訪者に本市の歴史・文化の理解深めていただけるよう取り組んだ。フォーラムでは49名の参加者があり、参加者から様々な質問を受け、史跡に対する関心の高さが伺えた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 デッキ設置状況(平成29年10月)  石出し4発掘状況(平成29年12月)		
 太閤堤フォーラム(平成29年12月)		

進捗評価シート		(様式1-3)
評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
		評価対象年度
		平成29年度
項目		現在の状況
情報発信・観光交流施設整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～平成31年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)	
計画に記載している内容	史跡宇治川太閤堤跡の隣接地において、市民と来訪者が利用できる、宇治の歴史や文化を情報発信する施設の整備を行う。当該事業により、宇治橋周辺地域の散策ルートの起点となる場所が確保され、来訪者の目的に応じたまちなか散策を円滑に誘導すると同時に、宇治の歴史や文化を総合的かつ分かりやすく伝えることができる。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
施設整備に先立ち、社会資本整備総合交付金の交付を受け用地取得を行い、事業予定地の取得を概ね完了した。また、本事業をPFIで実施するにあたって民間事業者の募集を行い、提案書の提出があった。		
【定量的評価】 平成29年度取得面積：2047.46㎡		
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	用地再取得については、概ね計画どおり進捗している。	
状況を示す写真や資料等		
凡例 事業予定地 29年度取得用地		
位置図		

進捗評価シート		(様式1-3)
評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
		評価対象年度
		平成29年度
項目		現在の状況
重要文化的景観保存事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度～	
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助	
計画に記載している内容	重要構成要素の修理事業を実施し、積極的な活用を図ることにより、賑わいのある沿道景観の魅力向上や伝統的な茶業の継承に寄与する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
重要文化的景観「宇治の文化的景観」の景観重要構成要素である福文製茶場屋根・旧丸五百貨店外壁の修理を実施した。また改修工事にむけて岩井勘造商店茶工場の調査を行った。 【定量的評価】 景観重要構成要素の届出建物修理修景事業の実施件数:3件		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 旧丸五百貨店(修理前)  旧丸五百貨店(修理後) (平成30年3月)  福文製茶場(修理前)  福文製茶場(修理後) (平成29年8月)		

進捗評価シート		(様式1-3)
評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
		評価対象年度
		平成29年度
項目		現在の状況
歩道整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成21年度～平成33年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(道路事業)	
計画に記載している内容	史跡公園と宇治川周辺の歴史・文化資源を結ぶ道路であり、歩道を整備することで、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できる快適な歩行空間を確保でき、宇治川周辺の回遊性の向上につながる。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
歩道整備事業(L=100m)の実施により、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できる快適な歩行空間を確保できた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 事業実施区間 歩道整備  【整備前】(平成22年5月) 歩車分離ができていない ↓  【整備後】(平成30年3月) 来訪者が安全に快適に歩行できる空間を確保		

進捗評価シート		(様式1-3)
評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
		評価対象年度
		平成29年度
項目		現在の状況
歩行空間整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度～平成31年度	
支援事業名	平成24年度～平成28年度:市単独事業 平成27年度～平成31年度:社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)	
計画に記載している内容	史跡公園と宇治川周辺の歴史・文化資源や白川集落を結ぶ道路に歩行空間を整備することで、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できるようになり、回遊性の向上につながる。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 平成29年度は、宇治川周辺の回遊性につながる散策路の1つである宇治233号線の整備に向けて、一部区間のフットライトの整備に着手した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等  宇治233号線 整備前(1) (平成28年4月)  宇治233号線 現在 (平成30年4月)  宇治233号線 整備前(2) (平成28年4月)		

進捗評価シート		(様式1-3)
評価軸③-6 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
		評価対象年度
		平成29年度
項目		現在の状況
観光施設周辺浸水対策事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～平成31年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	歴史・文化資源や歴史的まちなみの回遊性を確保するとともに、宇治川河畔の参詣や遊覧など歴史的伝統を継承する諸活動が行われている良好な市街地の環境を守る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
塔ノ島周辺地域において、塔ノ島第一排水機場及び塔ノ島第二排水機場の排水能力向上のための工事を実施した。また、併せて観光施設及び周辺道路の浸水を防止するため、市道宇治233号線の排水施設の改良工事を実施した。		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	塔ノ島周辺地域については、塔ノ島第一排水機場及び第二排水機場の排水能力向上のための工事を実施し、平成30年度早期に事業が完了する。 また、史跡宇治川太閤堤跡周辺地域については、史跡整備事業の中で整備を行っていく。	
状況を示す写真や資料等		
事業実施箇所   塔ノ島第一排水機場 (平成30年3月)  塔ノ島第二排水機場 (平成30年3月)  宇治233号線排水施設改良 (平成30年3月)		

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
観光サイン等整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～平成31年度		
支援事業名	「もうひとつの京都」市町村景観整備支援事業費交付金		
計画に記載している内容	歴史・文化資源や歴史的まちなみの回遊性を向上させ、歴史・文化遺産を活かしたまち全体を楽しむ観光振興を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
宇治市観光案内サイン整備ガイドラインに基づき、京阪宇治駅前・宇治橋東詰、宇治橋西詰、平等院表門前の3か所において新設2基、リノベーション5基、撤去11基の計18基の対応を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		補助事業に基づく財政措置を行っており、国・府補助金の動向により整備の進捗に影響がある。	
状況を示す写真や資料等			
			
観光案内サイン完成披露の様子(平成30年3月)			

進捗評価シート		(様式1-3)	
評価軸③-8 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項			
		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
建物修景助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成22年度 ～		
支援事業名	市単独事業費		
計画に記載している内容	歴史ある沿道景観の保全と形成を促進し、賑わいと風情あるまちづくりが推進される。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本市は、特に景観に配慮すべき宇治市景観計画重点区域内の景観重要公共施設(道路)の一部沿道において、良好な景観の形成に著しく寄与すると認められる建築物、工作物、その他(設計費等)について、助成を行うこととしており、平成29年度の申請は3件である。 【定量的評価】 景観形成助成の件数 : 申請件数 3件 (参考)28年度 : 申請件数 4件			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 修景前 (平成29年6月)  修景後 (平成30年3月)			

進捗評価シート		(様式1-3)
評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
		評価対象年度
		平成29年度
項目		現在の状況
屋外広告物助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成22年度 ～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	景観阻害要因の減少とともに、歴史的な町並みと調和した賑わいと風情あるまちづくりが推進される。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
本市は、宇治市景観計画重点区域内において、良好な景観の形成に著しく寄与する屋外広告物の整備に対して助成を行うこととしているが、平成29年度の申請は0件である。 【定量的評価】 景観形成助成の件数：申請件数 0件 (参考)28年度：申請件数 2件		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 撤去前 (平成27年1月)  撤去後 (平成28年9月)		

進捗評価シート		(様式1-3)
評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
		評価対象年度
		平成29年度
項目		現在の状況
宇治茶園支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成23年度 ～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	減少傾向にある宇治市域の茶園の維持・拡大を進めることや、伝統的栽培方法を推奨することで、生産者の経済的負担軽減と活動意欲を支える。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
高品質な宇治茶の生産を促進する事業として、宇治茶の伝統的茶製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手摘み茶推進対策」支援事業を行い、宇治独特の茶園景観の形成に寄与した。 【定量的評価】 伝統技術継承対策事業の実施件数：19件(320.9a) 「ほんず」による生産は非常に手間暇がかかり、生産省力化である寒冷紗による生産に移行する状況の中、実施件数は平成27年度18件(331.3a)、平成28年度19件(363.6a)、平成29年度19件(320.9a)と推移している。本事業による実施面積は、年度ごとの申請内容により増減があるものの、実施件数は近年横ばいで推移しており、ほんず栽培の保存や技術継承に効果を発揮していると評価できる。 手摘み茶推進対策の実施件数：32件 手摘みを継続していくためには摘み手の確保が必須であるが、年々確保するのが厳しい状況であり、平成27年度以降実施件数が32件で推移しており、手摘みを継承していきたい茶業者の支えとなっており、手摘み茶の推進の効果を発揮していると評価できる。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 伝統技術継承対策事業により支援が行われた「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況  手摘み茶推進対策事業により実施された「お茶摘みさん」を募集するチラシ		

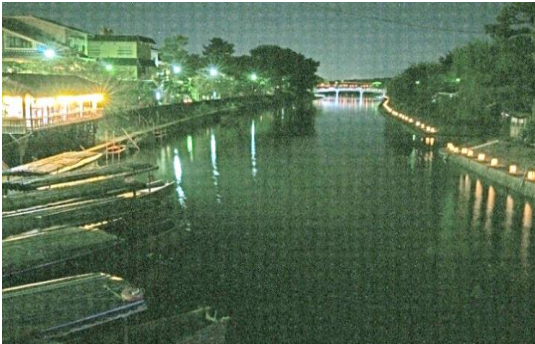
進捗評価シート		(様式1-3)	
評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項			
		評価対象年度	
		平成29年度	
項目		現在の状況	
宇治茶品質向上事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成23年度 ～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	品質向上への意欲増進や栽培・生産技術の向上が図られる。また担い手育成に取り組むことにより、生業の維持が図られる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
6月15日に宇治市で開催した宇治市茶品評会、8月1日から愛知県で開催された関西茶品評会、9月5日から長崎県で開催された全国茶品評会への出品の支援を実施した。 茶品評会への出品を推奨することで、生産者の生産意欲を高めるとともに宇治茶の伝統的製法の継承につながった。			
【定量的評価】 茶品評会出品数／入賞数：112点／54点受賞			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 全国茶品評会  宇治市茶品評会			
品評会の実施状況			
	第71回全国 茶品評会	第70回関西 茶品評会	第50回宇治市 茶品評会
出品数	41	40	31
優等数	/		2
1等賞	3	4	3
2等賞	5	12	2
3等賞	12	5	6
農林水産大臣賞	なし	なし	/
産地賞	なし	なし	/

進捗評価シート		(様式1-3)
評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
		評価対象年度
		平成29年度
項目		現在の状況
宇治茶普及啓発事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成23年度 ～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	市民や来訪者が宇治茶に親しみ、宇治茶を理解することは、お茶のまち宇治の歴史的風致の維持向上に寄与する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
5月14日に開催した「市民茶摘みのつどい」の開催や、10月1日に宇治川河畔一帯で開催された「宇治茶まつり」、「市民素人茶香服大会」等への支援を実施したことにより、多数の市民や来訪者に宇治茶への親しみや理解を深めることに寄与した。		
【定量的評価】 「市民茶摘みのつどい」の参加者数： 約500人 体験茶園面積の制限がある中、平成26年度以降約400人の参加で、平成29年度約500人に増加した。市民に広く浸透している事業であり、茶摘みという体験を通して、宇治茶への親しみや理解を深める効果があるものと評価できる。 「宇治茶まつり」の参加者数： 約10,000人 各年度ごとに、複数の事業を同時開催しているもので、年度ごとの比較はできないが、平成29年度においても約10,000人の参加があり、市民や来訪者への宇治茶の普及啓発に効果があるものと評価できる。 「市民素人茶香服大会」の参加者数： 約80人 平成26年度約70人、平成27年度約100人、平成28年度及び29年度は約80人の参加があり、宇治茶への親しみや理解を深める効果があるとともに、茶香服という独自文化を認識させる効果があるものと評価できる。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 市民茶摘みのつどいの開催状況  宇治茶まつりの開催状況		

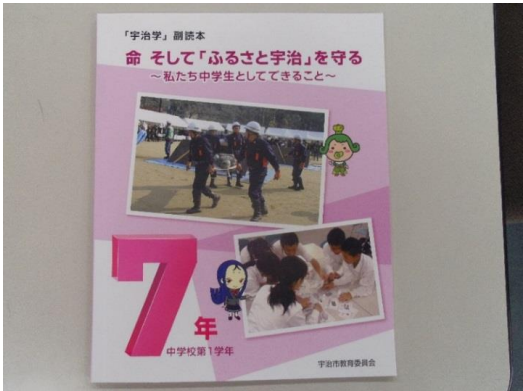
進捗評価シート		(様式1-3)																																														
評価軸③-13 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項																																																
		評価対象年度																																														
		平成29年度																																														
項目		現在の状況																																														
市営茶室対鳳庵活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																																														
事業期間	平成23年度 ～																																															
支援事業名	市単独事業																																															
計画に記載している内容	茶文化を体験できる機会を提供することは、市民や来訪者に宇治茶の品質や、茶業全般への関心や理解を促すことにつながる。																																															
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																																																
本格的数寄屋建築の市営茶室「対鳳庵」において、表千家・裏千家・山荘流の3流派による抹茶や、小川流、二条流、瑞芳菴流、方円流の4流派による煎茶の本格的なお点前の実施により、茶文化の体験できる機会の創出とお茶への関心や理解を促す場を提供することができた。 なお、平成26年4月より従来の抹茶の薄茶、煎茶のみのメニューから濃茶と薄茶、玉露と煎茶のセットメニュー及びお点前体験のメニューを追加することにより、利用者の増加や満足度を高める取り組みを行っている。																																																
【定量的評価】																																																
市営茶室でお茶席の利用者数 : 24,800人																																																
(参考)28年度 : 21,329人																																																
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																															
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない																																																
状況を示す写真や資料等																																																
 茶の湯の用意ができていることを知らせる“在釜”の札をかける市営茶室対鳳庵の露地門  本席(三畳向切)において抹茶点前で喫茶の様子																																																
■対鳳庵 入席者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入席者数</th> <th>うち外国人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>24年度</td><td>16,032人</td><td>4,889人</td></tr> <tr><td>25年度</td><td>14,259人</td><td>4,259人</td></tr> <tr><td>26年度</td><td>22,335人</td><td>6,059人</td></tr> <tr><td>27年度</td><td>21,632人</td><td>7,198人</td></tr> <tr><td>28年度</td><td>21,329人</td><td>8,442人</td></tr> <tr><td>29年度</td><td>24,800人</td><td>11,803人</td></tr> </tbody> </table> ■対鳳庵 新メニュー実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>濃・薄セット</th> <th>玉露</th> <th>玉・煎セット</th> <th>お点前体験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>26年度</td><td>248人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>345人</td></tr> <tr><td>27年度</td><td>115人</td><td>20人</td><td>5人</td><td>867人</td></tr> <tr><td>28年度</td><td>181人</td><td>9人</td><td>6人</td><td>913人</td></tr> <tr><td>29年度</td><td>134人</td><td>9人</td><td>0人</td><td>1,026人</td></tr> </tbody> </table>				入席者数	うち外国人	24年度	16,032人	4,889人	25年度	14,259人	4,259人	26年度	22,335人	6,059人	27年度	21,632人	7,198人	28年度	21,329人	8,442人	29年度	24,800人	11,803人		濃・薄セット	玉露	玉・煎セット	お点前体験	26年度	248人	2人	2人	345人	27年度	115人	20人	5人	867人	28年度	181人	9人	6人	913人	29年度	134人	9人	0人	1,026人
	入席者数	うち外国人																																														
24年度	16,032人	4,889人																																														
25年度	14,259人	4,259人																																														
26年度	22,335人	6,059人																																														
27年度	21,632人	7,198人																																														
28年度	21,329人	8,442人																																														
29年度	24,800人	11,803人																																														
	濃・薄セット	玉露	玉・煎セット	お点前体験																																												
26年度	248人	2人	2人	345人																																												
27年度	115人	20人	5人	867人																																												
28年度	181人	9人	6人	913人																																												
29年度	134人	9人	0人	1,026人																																												

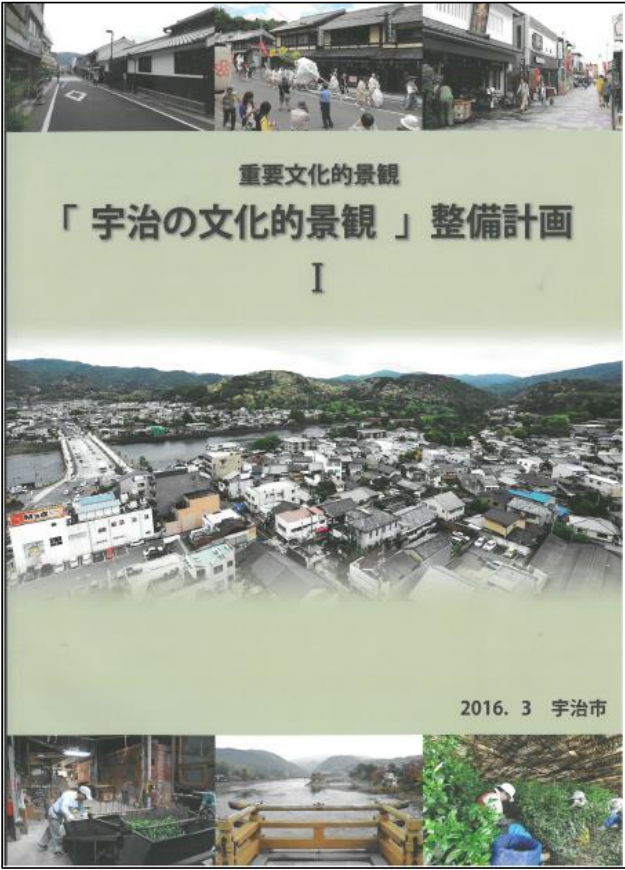
進捗評価シート		(様式1-3)						
評価軸③-14 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項								
		評価対象年度	平成29年度					
項目		現在の状況						
宇治川鵜飼助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手						
事業期間	平成23年度 ～							
支援事業名	市単独事業							
計画に記載している内容	平安貴族の宇治川見物のひとつであった宇治川の鵜飼は、鎌倉時代に禁止されたのち、昭和初年に復活し、以降宇治川の夏の風物詩として定着している。多くの来訪者を楽しませる鵜飼を継承する。							
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で								
鵜飼事業の実施に支援し、7月1日(土)から9月30日(土)までの出船期間中に乗り合い船、ツアー団体、貸しきり船などで約6,390人の乗船があった。宇治川の夏の風物詩として歴史的風致の維持向上に寄与した。 【定量的評価】 鵜飼船乗船者数:約6,390人(増水・台風のため17日間の臨時休業があり、75日間の営業実施であった。) (参考)28年度:約6,920人(増水・台風のため13日間の臨時休業があり、79日間の営業実施であった。) 《うみうのウッティー 孵化・成長》 平成26年・・・1羽 平成27年・・・2羽 平成28年・・・2羽 平成29年・・・4羽								
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)						
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		今後、さらなる集客に向けて放ち鵜飼の検討を行っている。						
状況を示す写真や資料等								
 宇治川鵜飼の実施状況①		 生後間もないウッティー						
 宇治川鵜飼の実施状況②		 成長したウッティー						
■鵜飼実績								
	営業期間		期間日数	休業日数	営業日数	乗船人数	(内乗合人数)	1日平均(人)
24年度	6月16日	～ 9月23日	100	17	83	6,300	3,890	76
25年度	6月15日	～ 9月23日	101	18	83	6,700	4,700	80
26年度	6月15日	～ 9月21日	99	23	76	6,970	4,520	91
27年度	6月14日	～ 9月23日	102	40	62	7,060	3,670	114
28年度	7月1日	～ 9月30日	92	13	79	6,920	3,570	88
29年度	7月1日	～ 9月30日	92	17	75	6,390	3,470	85

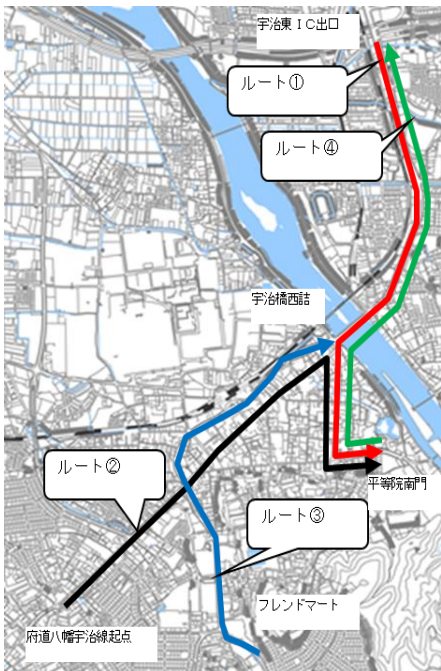
進捗評価シート		(様式1-3)
評価軸③-15 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
		評価対象年度
		平成29年度
項目		現在の状況
宇治十帖スタンプラリー開催		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成23年度 ～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	近世から親しまれる宇治の遊覧の1つ『源氏物語』宇治十帖めぐりを定期的に設けることにより、多くの人に宇治川河畔の歴史的風致に触れる機会が創出される。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
晩秋の宇治の風情を楽しみながら源氏物語宇治十帖ゆかりの地などを巡るスタンプラリーを4日間(10月28日・11月3日・4日・5日、なお、当初5日間開催する予定であったが、10月29日は台風接近に伴い中止となった。)開催し、宇治の歴史的風致に触れる機会が創出された。 昨年同様、宇治市宣伝大使「ちはや姫」とご当地キャラクター「チャチャ王国のおうじちゃま」が参加するゆるきやら(R)ポイント及び京都大学宇治キャンパスに臨時ポイントを設け事業を盛り上げた。 スタンプラリー特別ポイントとしていた「史跡宇治川太閤堤跡」では、平成29年度から展望デッキを特別ポイントとして設けたことで参加者へより詳しく説明することが出来、歴史公園整備への理解を広めることができた。		
【定量的評価】		
スタンプラリー参加者数: 12, 674人		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新コースの設定など新たな取り組みを検討し、観光客のさらなる集客を検討する。	
状況を示す写真や資料等		
 スタンプラリーのスタンプ帳  スタンプラリー実施の様子		

進捗評価シート		(様式1-3)
評価軸③-16 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
		評価対象年度
		平成29年度
項目		現在の状況
京都・宇治灯り絵巻の開催		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成23年度 ～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	かつては宇治川の蛍狩りが夏の夜の風物詩として、多くの来訪者で賑わいを見せた。現在宇治川で蛍を見ることはできないが、夜に宇治川河畔を散策する機会を設けることで、かつてのような夜の賑わいの創出につながる。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
宇治川の鵜飼、植物公園の蛍ナイター、三室戸寺のライトアップや宇治市観光協会の会員13店舗等による行燈の掲出・点灯を継続して実施し、計画に記載している「夜に宇治川河畔を散策する機会を設けることで、かつてのような夜の賑わいの創出につながる。」という一定の効果が発現した。		
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	次年度以降も継続し、イベント等に合わせた灯りの演出を検討する。	
状況を示す写真や資料等		
 三室戸寺のライトアップ  宇治川鵜飼のライトアップ		

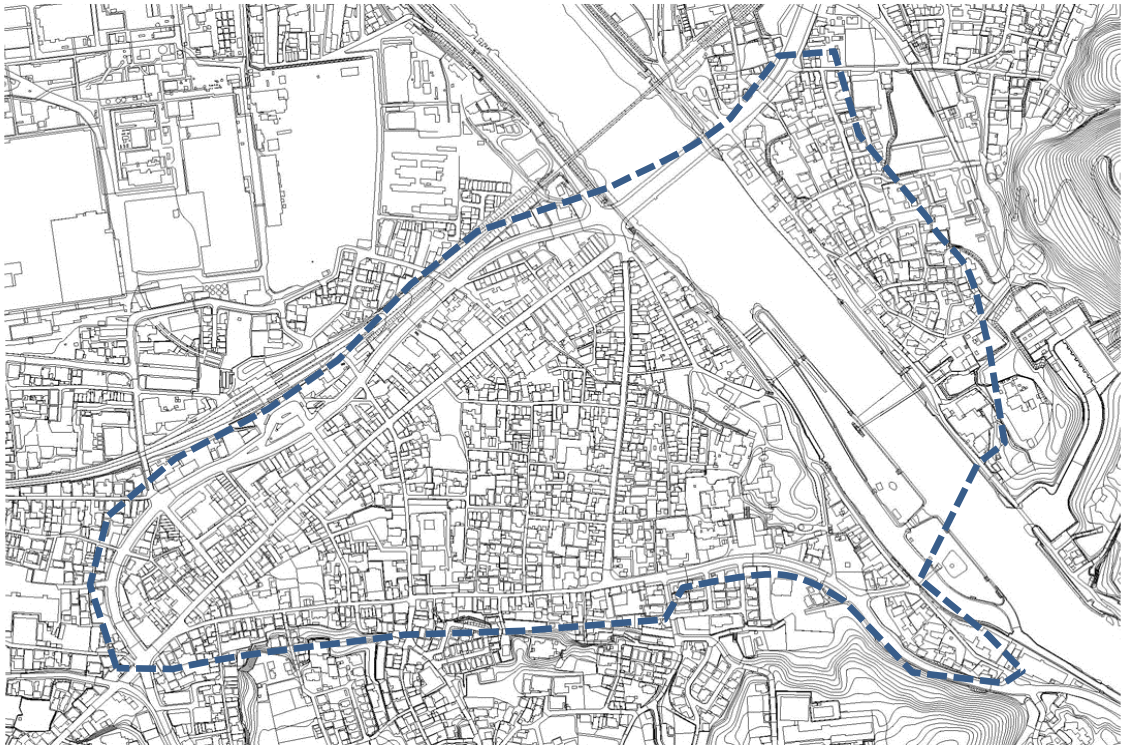
進捗評価シート		(様式1-3)	
評価軸③-17 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項			
		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
文化財見学会		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成23年度 ～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	小学生を対象にした文化財の普及・啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながるため、次世代へと引き継ぐべき歴史的風致の維持向上に寄与するものである。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・春の庵寺山古墳の一般公開 平成29年 6月10日(土) 10:00～15:00 約80人 ・秋の庵寺山古墳の一般公開 平成29年11月18日(土) 10:00～15:00 約50人 ・第27回小中学生の文化財見学会 平成29年11月23日(木) 13:30～15:00 40人 ・宇治川太閤堤跡発掘調査現地説明会 平成30年 1月27日(土) 13:00～15:00 約150人 文化財見学会終了後の感想文コンクールでは、5本の作文が寄せられた。その中で見学会終了後、父親と共に旧巨椋池を見に行ったりするなど、効果が得られた見学会であった。			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
庵寺山古墳春の公開(平成29年6月)		史跡宇治川太閤堤跡での文化財見学会(平成29年11月)	
			
史跡宇治川太閤堤跡現地説明会(平成29年12月)			

進捗評価シート		(様式1-3)
評価軸③-18 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
		評価対象年度
		平成29年度
項目		現在の状況
歴史・文化啓発事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成23年度 ～	
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助	
計画に記載している内容	多くの市民を対象にした歴史・文化の啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながる。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○歴史・文化啓発事業として、文化的景観フォーラム、史跡宇治川太閤堤フォーラム、宇治鳳凰大学への出前講座を開催した。 【定量的評価】 文化的景観フォーラム： H30年3月11日(日) ①13:00～16:00 参加人数 30人 史跡宇治川太閤堤跡保存整備フォーラム： H29年12月3日(日) 13:30～16:30 参加人数 50人 宇治鳳凰大学出前講座： H30年1月19日(金) 10:00～12:00 約180人 平成29年度の文化的景観フォーラムは「宇治茶の文化的景観」をテーマに行った。アンケートでは「宇治茶の価値を再認識」や「世界遺産の認識が深まった」などの意見があり、宇治茶の文化的景観に対する認識を深める効果があると評価できる。 ○「宇治学」(総合的な学習の時間)での探究的学習や協働的学習をより効果的に行うため、「宇治学」副読本を作成した。 【定量的評価】 「発見!! 「ふるさと宇治」の自然を伝えよう」(小学校4年生)を市内小学校全22校に配布。 「命 そして「ふるさと宇治」を守る～私たち中学生としてできること～」(中学校1年生)を市内中学校全10校に配布。		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 重要文化的景観フォーラム  「宇治学」副読本 小学校4年生用  「宇治学」副読本 中学校1年生用		

進捗評価シート		(様式1-3)	
評価軸③-19 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項			
		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
文化的景観整備計画策定調査		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	～ 平成33年度		
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助		
計画に記載している内容	地域の自然・歴史・社会的文脈を保全しつつ、次世代のまちづくりを考える文化的景観の保護の取組は、歴史的風致の維持向上と密接に関わるものであり、整備計画において、重要構成要素に特定された物件を対象に、所有者等の協力を得て宇治地区の街区構造の継承や茶業関係の家屋の修景など整備活用の具体的検討を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成27年度に策定した「宇治の文化的景観」整備計画の区域拡大(白川地区・黄檗地区)にむけて地元との調整を行った。また、重要構成要素の拡大に向けて、建造物所有者との協議を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		重要構成要素の拡大については、世代交代により建物を維持していくことに関して見通すことができないという所有者も多く、特に民家の保存についての問題が浮かび上がった。	
状況を示す写真や資料等			
 重要文化的景観 「宇治の文化的景観」整備計画 I 2016. 3 宇治市			

進捗評価シート		(様式1-3)
評価軸③-20 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
		評価対象年度
		平成29年度
項目		現在の状況
観光交通対策検討調査		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	観光シーズンになると自家用車が重点区域に集中し、来訪者で賑わう狭隘な道路での安全性の確保や、近年増加している自転車の来訪者への対策が講じられておらず、宇治の風情を損なうことがある。このような交通問題対策として、来訪時と来訪中の移動について総合的に対策を検討し、計画に基づき、様々な事業をパッケージ的に実施することにより、歴史的風致の維持向上を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
【平成29年度】 ・平成27年度から実施している周辺駐車場の情報発信や現地での誘導等による効果を確認するため、ゴールデンウィークにおける車での旅行時間の再調査を実施した。平等院周辺での旅行時間に大きな変化は見られなかったものの、宇治橋通り・宇治淀線、京都宇治線で旅行時間の短縮が確認できた。 ・平成28年度に平等院方面への抜け道となっている市道白川浜山本線への流入を抑制するため、一般財団法人日本デジタル道路地図協会へカーナビでの道案内に関する要望書を提出した結果、メーカーによっては、要望に対応済みまたは今後対応実施する旨の回答を受けた。 【今後の予定】 平成30年度にも、車の旅行時間調査を実施する予定としている。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・宇治の風情を損なわないよう、観光交通の対策として、駐車場の情報発信や現地の誘導等を実施している。 ・旅行時間調査における目標値の設定については、天候や様々なイベント等の実施により交通量変動するので難しいが、数年間調査を継続し統計を取ることで、一定観光交通対策の効果が確認できるのではないかと考えており、調査結果が出た段階で実施している対策の検証を行っていく。	
状況を示す写真や資料等		
旅行時間の調査(ルート①～④にて実施:4ルート) 		

H29.5.4 旅行時間調査の状況

進捗評価シート		(様式1-3)
評価軸③-21 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
		評価対象年度
		平成29年度
項目		現在の状況
空き町家の活用検討調査		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	伝統的木造家屋を活用することは、賑わいと風情ある町並みの継承につながる。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成27年度に宇治市空き家等の適正管理条例を施行し、空き家を対象とした窓口相談を行っている。平成29年度は71件の相談があった。(条例施行後の相談総数は283件) また、平成28年度に現状調査を実施した中宇治地域の伝統的木造家屋(325戸)の所有者(土地・建物)を調査した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	平成30年度に空き家対策の計画策定、利活用を図るため、関係する12室・課の所属長を担当課長とする組織体制を確立し、空き家に対する意識を探るアンケート調査を実施する予定。また、今後どのような町家を積極的な活用物件として取り扱うべきかについては、引き続き調査・検討を行う。	
状況を示す写真や資料等		
		
平成28・29年度に伝統的の家屋を調査した		

進捗評価シート		(様式1-3)
評価軸③-22 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
		評価対象年度
		平成29年度
項目		現在の状況
観光周遊道路の整備検討調査		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	来訪者が歴史に触れながら散策できる快適な道路空間を確保することにより、宇治川周辺の回遊性の向上につながるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成29年度には、来訪者が歴史に触れながら散策できる快適な道路空間を確保するため、宇治川周辺の回遊性につながる散策路の1つである市道宇治228号線の無電柱化についての検討を行った。		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
【位置図】 【現在】(平成30年1月) ↓ 【整備後イメージ】 無電柱化に取り組むことで 伝統的な沿道景観との調和や道路景観の改善を図る。		

文化財の修理(整備を含む)

計画に記載
している内容

- 宇治上神社本殿・拝殿(国宝)は、前回の屋根葺替から拝殿は35年、本殿は30年が経過して檜皮の傷みが顕著になっており、このため国庫補助事業による屋根葺替修理が計画されている。

- 重要構成要素の家屋の修理・修景は、国の補助金の充当を可能とする市の分担金条例に基づき、文化的景観保存活用事業として進めている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

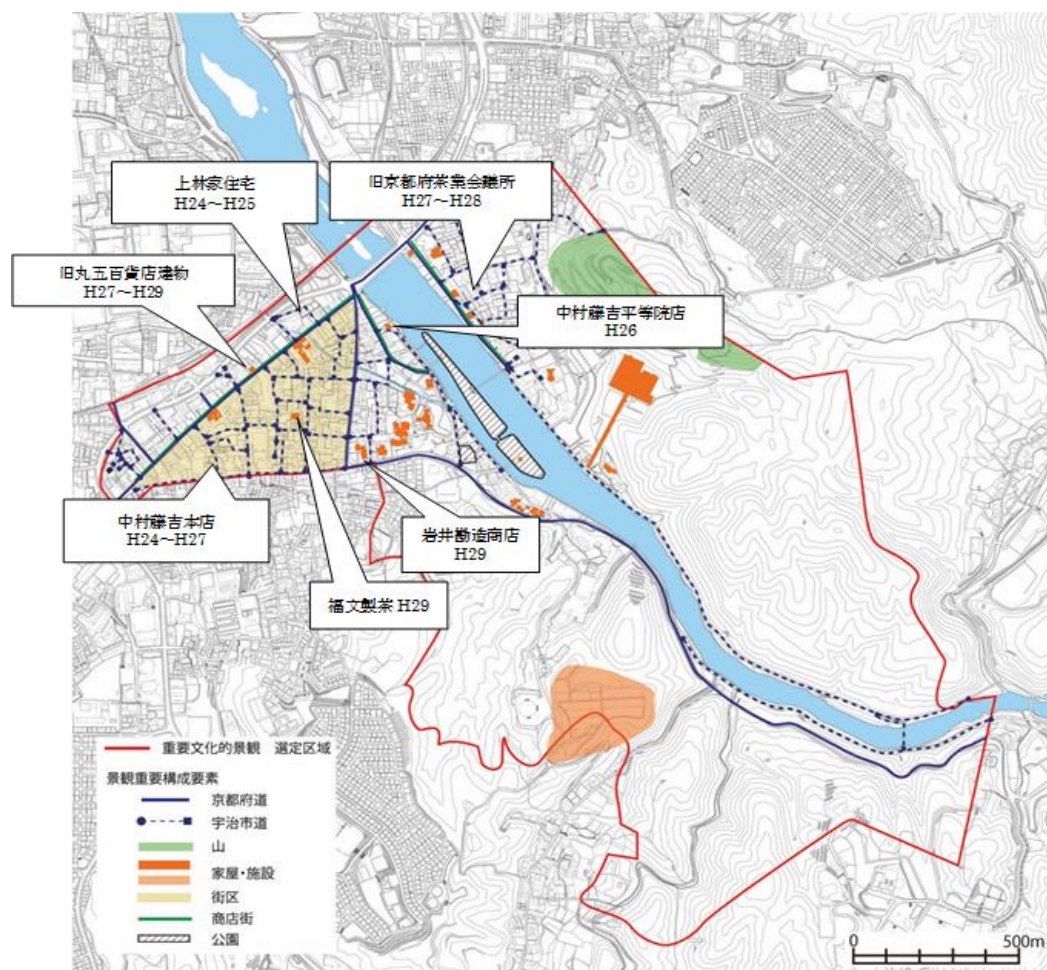
- 国宝宇治上神社の修理は平成26年度完了。平成29年度は、国宝平等院鳳凰堂保存修理事業が行われた。

- 景観重要構成要素の届出建物修理修景事業の実施件数:3件(修理2件)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

重要文化的景観の補助制度が平成28年度に変更となり、補助金に市の負担が入ることとなったため、市の予算によって事業量が制限される。

状況を示す写真や資料等



宇治の文化的景観 課題等報告箇所位置図

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度
文化財の防災		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 平成20年に発足した「宇治市文化財まもり隊」の活動は、文化財に対する保護意識高揚と地域の自主防災活動を促し、火災予防の徹底と災害が発生した場合の被害軽減を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財まもり隊は、自主消防隊を持つ平等院と、5年前に指定された恵心院以外の指定建造物に対して結成されている。平成29年度の文化財防火デーに行われた文化財防火研究会は興聖寺で行われ、防火訓練では興聖寺等文化財まもり隊と自主消防隊が参加し共同で実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



防火訓練の様子（興聖寺 平成30年1月）

文化財まもり隊一覧

文化財まもり隊名	対象文化財	指定区分
白山神社文化財まもり隊	白山神社	国指定
宇治上神社文化財まもり隊	宇治上神社	国指定
宇治神社文化財まもり隊	宇治神社	国指定
興聖寺等文化財まもり隊	興聖寺	市指定
厳島神社文化財まもり隊	厳島神社	市指定
八幡宮文化財まもり隊	八幡宮	市指定
十八神社文化財まもり隊	十八神社	国指定
三室戸寺文化財まもり隊	三室戸寺	府指定
許波多神社文化財まもり隊	許波多神社	国指定
大和田文化財まもり隊	萬福寺 蔵林寺	国指定 市指定

進捗評価シート		(様式1-4)
評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項		
項目		評価対象年度 平成29年度 現在の状況
文化財の保存及び活用の普及・啓発		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財に親しんでもらうことを目的とした市指定史跡庵寺山古墳の公開や小中学生を対象にした文化財見学会、発掘調査報告会、文化的景観フォーラム等を行っており、これらの活動や行事を通じて文化財保護の普及啓発に努める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
文化財保護の普及啓発を図るため、次の事業を実施した。 ・春の庵寺山古墳の一般公開 平成29年 6月10日(土)10:00～15:00 約80人 ・秋の庵寺山古墳の一般公開 平成29年11月18日(土)10:00～15:00 約50人 ・第27回小中学生の文化財見学会 平成29年11月23日(木)13:30～15:00 40人 ・宇治川太閤堤跡発掘調査現地説明会 平成30年 1月27日(土)13:00～15:00 約150人		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	庵寺山古墳の見学会では、古墳の見学だけでなく勾玉作りも行っており、小学生などに人気があるが、別の体験メニューも増やす必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
		
小中学生の文化財見学会(平成29年11月)		

進捗評価シート		(様式1-4)
評価軸④-4 文化財の保存又は活用に関する事項		
		評価対象年度
項目		平成29年度 現在の状況
埋蔵文化財の取扱い		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	重点区域内には「宇治市街遺跡」、「平等院旧境内遺跡」、「白川金色院跡」、「宇治川太閤堤跡」等の埋蔵文化財包蔵地があり、整備や活用に反映させることとする。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
二子山古墳は、宇治橋東方の丘陵上にある古墳時代中期の古墳で、昭和43年に発掘調査され豊富な副葬品が出土している。近年古墳周辺で開発計画があり、平成28年度に引き続き平成29年度も保存に向けた発掘調査を行い、文化財の申請に向けた準備を進めるとともに、開発事業者と保全の方法について協議を進めている。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
		
二子山古墳発掘調査(29年9月)		

進捗評価シート		(様式1-4)
評価軸④-5 文化財の保存又は活用に関する事項		
項目		評価対象年度 平成29年度 現在の状況
文化財の保存・活用に関わる住民・NPO等の各種団体の状況及び今後の体制整備		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	お茶どころ宇治の個性を磨くため、宇治茶園の覆下栽培を維持・拡大するための支援事業、宇治茶製法技術保存会への助成事業、「宇治茶まつり」などの実施団体への助成事業など、宇治茶の品質向上・普及に努める農家や団体等への各種支援を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
高品質な宇治茶の生産を促進する高品質茶推進事業として、宇治茶の伝統的茶製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手摘み茶推進対策」支援事業を行った。 また、10月1日に宇治川川畔一帯で開催された「宇治茶まつり」、「市民素人茶香服大会」等への支援を実施したことにより、多数の市民や来訪者に宇治茶への親しみや理解を深めることに寄与した。		
【定量的評価】 「伝統技術継承対策」支援事業の実施件数 : 19件(320.9a) 「手摘み茶推進対策」の実施件数 : 32件 「宇治茶まつり」の参加者数 : 約10,000人 「市民素人茶香服大会」の参加者数 : 約80人		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 伝統技術継承対策支援事業により支援が行われた「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況		

		評価対象年度	平成29年度
報道等タイトル		年月日	掲載紙等
災厄封じ宇治川へ 初夏の宇治に勇壮な馳せ馬		平成29年6月9日	城南新報
いにしえの神事 無病息災祈る		平成29年6月9日	洛南タイムス

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

宇治市の維持向上すべき歴史的風致には「遊覧と参詣」「茶どころ宇治」「宇治に伝わる祭礼」の3つを挙げている。「宇治に伝わる祭礼」の歴史的風致として、市の無形民俗文化財第1号(2012年指定)であり伝統的な行事である「大幣神事」が報道された。古式の装束を身に着け中世以来の祭具を持した大幣の行列が巡行する様子は、宇治で数百年にわたって培われ積み重なってきた歴史の厚みがまちなかに放散されるような風情と賑わいを伝えている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



一ノ飯を目指して全力疾走する駒せ馬

[illegible]

宇治神社御旅所前から勢いよく駆ける人馬



四尺短胴横太鼓による「ふれ太鼓」



地産物行列する町内会も存在

県神社で大幣神事

いにしえの神事
無病息災祈る

宇治の郡に夏の到来を告げる、県（あがた）神社（宇治蓮華、鯉御一宮司）の「大幣（たいへい）神事」が8日、中宇治地区で
行なわれた。いにしえから続く伝統行事に大勢の市民や観光客
詰め掛け、無病息災を祈った。〔盛川 振一郎〕



行列で練り歩く子供衆



巨癌を封じ込めた大幣を引きずる若衆たち



宇治川に大陣を打ち返す者衆たせし。



櫓の台を担ぐ行列



大幣を担ぐ若衆たち

その後、行列は本町通りを再び興神社に戻った。大勢は驚き、街中の大勢を討しめると、若衆に馬には相手を送られていた。

その後、行列は本町通りを再び興神社に戻った。大勢は驚き、街中の大勢を討しめると、若衆に馬には相手を送られていた。



伝統装束を身にまとい本町通りを練り歩く子供たち



町中の強盗を集めた大勢を全力で引きずり宇治橋を目指す男衆

進捗評価シート		(様式1-5)
評価軸⑤-2 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル		評価対象年度 平成29年度
年月日	掲載紙等	
秋の源氏ロードを満喫 宇治十帖スタンプラリー	平成29年11月7日	洛南タイムス
源氏ろまん 歩いて満喫 宇治十帖スタンプラリー開幕	平成29年10月29日	城南新報
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
宇治市の維持向上すべき歴史的風致には「遊覧と参詣」「茶どころ宇治」「宇治に伝わる祭礼」の3つを挙げている。現代版の「遊覧と参詣」ともいえる「宇治十帖スタンプラリー」に参加者が年々増え、今回も多数の参加者があるだろうとの期待から初日の様子が報道された。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		
秋の源氏ロードを満喫 宇治十帖スタンプラリー 4日間で1万人以上が踏破 ◆…晩秋の宇治の風情を楽しむながら源氏物語宇治十帖ゆかりの地などをめぐる「源氏ろまん2017 宇治十帖スタンプラリー」が5日にピリオドを打ち、4日間の開催で1万人以上が踏破した。◆コースは宇治 ◆…史跡宇治川太閤堤跡、許波多神社、宇治市植物公園、黄檗山万福寺、源氏物語ミュージアムも特別ポイントにしたほか、28日は期間限定で京都大学宇治キャンパス公開ポイントも開設。宇治を舞台にしたアニメ 源氏ろまん 歩いて満喫 宇治十帖スタンプラリー開幕 源氏ろまん2017「宇治十帖スタンプラリー」が28日、宇治市内で始まった。市民や観光客がスタンプ帳を片手に、宇治橋周辺を中心に散策を楽しんだ。宇治市と市教委、紫式部文学賞イベント実行委員会、市観光協会の主催。1991年から秋の観光シーズンに行い、27回目。宇治十帖古跡の東屋(あずまや)、榎本(いなど)10ポイントを巡る「基本コース」(約4.5キロ、所要時間約1時間30分、同コースに白山神社や泉神社、恵心院といった寺社、天ヶ瀬吊り橋、宇治橋通り商店街の代官所跡などを加えた21ポイントの「健脚コース」(約12キロ、同約5時間)を設定した。11月5日まで、土・日・祝日に開催する。午前9時30分〜午後4時。府  「響け！ユーフォニアム」に呼応し幅広い世代からの参加でにぎわった宇治十帖スタンプラリー（ゴールの塔の島）  子供たちもスタンプラリーに挑戦(榎本)		

評価対象年度	29年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 宇治市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 平成30年5月18日 14:00～16:00	
(コメントの概要) ・事業の実施にあたり財政状況等が厳しくなっているということであるが、計画に記載の事業については、計画どおり実施するのが原則であると思う。 ・伝統的家屋や空き町家がどこにあるのか把握し、報告していただきたい。 ・空き町家について、住宅政策の延長で活用価値を多面的に考えていただきたい。 ・地域にとっての文化財とは何かを考え、地域住民により守っていくような体制が重要である。 ・本協議会において、「歴史的風致」とは何かをもう一度考えてみる必要があると思う。 ・飲み物としての宇治茶だけでなく、「宇治茶」という資源を上手く使いながら、広くPRすることを考えてよいと思う。	
(今後の対応方針) ・計画に記載の事業については、計画期間のなかで今後の財政状況等を見据えながら実施を図っていく。 ・伝統的家屋や空き町家の活用については、平成30年度に空き家対策の計画策定、利活用を図るため、関係する12室・課の所属長による組織体制を確立した。今後どのような町家を積極的な活用物件として取り扱うべきかについては、引き続き調査・検討を行う。 ・「歴史的風致」については、平成30年度が本計画の中間評価の実施年度であることから、評価の作業を進めるなかで協議会等のご意見も聞きながら改めて考えていくこととする。	